

第2次農業振興計画 事業一覧

資料5

施策(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	H30年度 取組
①食と暮らしを支える多様な農業	直売所のさらなる活用	1	直売所の利用の促進	めぐみちゃんメニュー事業、HPの活用等による情報提供拡充	①市HP直売所一覧の情報を充実する。 ②直売所で使用するのぼり旗を作成、配布する。 ③ファームカーによる直売支援を行う。
		2	おでかけマップの更新	直売所情報の更新	「おでかけ図鑑」で、JAや市施設での直売所の紹介。
	地産地消の推進	3	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	地産地消の推進、販路の拡大を目指す。	①新たなイベント開催。 ②マルシェ開催。 ③事業者認定の見直しによる参加事業者拡大を図る。 ④SNSを活用した事業広報。
		4	学校給食との連携	栄養士との意見交換会を開催する。	①学校栄養士と農業者の連絡会開催への出席。 ②JAと協力した共通メニューの実施検討。
	販路の拡大と西東京ブランドの育成	5	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	再掲	=No.3
		6	めぐみちゃんブランドの普及啓発	メニュー事業や補助金を活用し普及啓発を行う。	①めぐみちゃんメニュー事業による普及を図る。 ②「市産農産物活用補助金」の商工業者への周知。農業者には、直売所看板等への使用実績を広報し、様々な活用を促す。 ③直売所にめぐみちゃんのものぼり旗を配布。
		7	JA直売所の開設検討	JA内直売所の充実、JAが直売所開設に向けた調査・研究	①ファームカー等によるJA直売所への支援継続する。 ②支店統合等にあわせ、JAに要望を行っていく。
②多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営	地域や商店街との連携	8	地域や商店街との連携	地域や商店街でのイベント等の活用	①いこいの森公園やリサイクル市での農業者の直売活動を支援(ファームカー等)する。 ②多摩六都などイベントにおける直売への支援(ファームカー)を行う。 ③畑の防災訓練で地域の自治会と連携。 ④景観散策会における講師派遣などの地元商店街との連携 ⑤高齢者センターきららと連携した「テークアウェイ」の実施
		9	地元と連携した後継者育成	F&Uの実施、認定農業者を講師とした研修の実施	①東京都プレジチュ&Uターナーセミナーや指導農業者制度を活用した後継者育成の支援。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を推進。 ③「農業後継者顕彰」事業。
	若い担い手や女性農業者の育成	10	若い担い手(新規就農者含む)の育成の検討	意見交換を通じ有効な支援策を検討	①F&Uの活用、農業技術研修生制度、指導農業者士制度の活用。 ②中央農業改良普及センター等都関連機関との連携。
		11	女性農業者の育成の検討	意見交換を通じ有効な支援策を検討	①農業委員会の女性委員への参加。 ②認定農業者の経営改善計画において、女性を含めた家族協定を推奨していく。
	援農ボランティアの活用	12	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農のアカデミー体験実習農園にて実施する。	①「青空塾」修了者と農業者のマッチングを、農のアカデミー体験実習農園にて実施。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報の協力。 ③都農作業サポーター支援事業との連携(募集協力等)
		13	援農ボランティアのスキルアップ(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農のアカデミー体験実習農園にて実施する。	①援農ボランティアのスキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のアカデミーにて実施する。 ②講演会や運営連絡会の実施し、スキルアップにつなげる。
	効果的な支援による農業経営意欲の促進	14	認定農業者への支援の拡充の検討	支援の検討	①「認定農業者経営改善補助金」による支援。 ②経営改善計画作成への支援(西東京市農業経営改善支援センター)。 ③認定農業者連絡会の開催支援。 ④平成30年度「都市農業活性化支援補助金」の実施支援。
		15	新たな支援策の調査・研究	調査・研究	①内容の改善についてJAと意見交換 ②新たな補助制度(「都市農地保全プロジェクト」)の要望調査。 ③直売所への支援策検討。 ④公共施設での直売検討。
	農地の保全と活用	16	営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。
		17	生産緑地地区制度への意見の具申	生産緑地制度への意見を具申	①農業者の意見を集約し、「意見」を市に提出する。 ②生産緑地の再指定について、農業委員会として意見を述べる。
		18	農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	①農業委員会と市が協力して、農地パトロールを実施する。 ②農業者への年間を通じたご指導。

施策(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	H30年度 取組
③ 農地の保全と活用	多面的機能の発揮	19	花摘みの丘の活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	景観をポイントにした施設の活用	①景観散策会の実施 (平成30年度は時期を前倒し、花が多い時期に開催する。)
		20	農のアトリエ「蔵の里」の活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	農業学習や防災訓練	①農業者を講師として、小学生の農業学習を実施。 ②自衛隊、消防署、地元自治会、市危機管理室の協力により、防災訓練を実施。 ③高齢者を対象にしたテーブルファームを開催(高齢者福祉課)
		21	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大	①JAと市(危機管理室)が協定を締結している。 ②災害用井戸の登録などの情報提供。
		22	農業景観散策会の実施	花摘みの丘、農のアカデミー、農のふれあい散歩道	=No.19
		23	市内産農産物活用事業の実施	市内産農産物を活用したイベント実施	①農のアカデミーにおける収穫祭の開催。 ②市内農産物を使用した料理教室(消費者センター)開催支援
④ 農業を通じた交流	各種イベント、即売会等の実施	24	親子で野菜づくりにチャレンジの実施	親子参加型イベントの実施	農のアカデミーにおいて、親子での播種、収穫の体験を通じた都市農業のPRを行う。
		25	農業普及啓発プロジェクトの活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	農業普及啓発プロジェクト (ファームカー、イメージビデオ、イメージジング)の活用	①イベントや市民まつり等を利用した都市農業PRを実施。 ②ファームカーを活用し、直売の支援、イベントや市内巡回による市内農業の広報活動を行う。 ③めぐみちゃんメニュー事業の映像を活用した広報。
		26	めぐみちゃんマーケットの開催 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	市民理解を目的にめぐみちゃんマーケット開催。	①めぐみちゃんメニュー事業によるマルシェを実施。 ②農業者によるマルシェ開催の支援、情報提供を行う。
		27	緑のアカデミー事業の実施 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	緑のアカデミー	緑のアカデミーイベントを実施し、市内産植木の広報、農業者と市民の交流を図る。
		28	農とのふれあい散歩道づくり(都市と農業が共生するまちづくり事業)	散歩道づくりの推進	パンフレット等による周知、広報
		29	ファームカーを活用した即売会 (マルシェ)の検討	ファームカーによるマルシェの検討	ファームカーを活用した農業者の直売への支援。
		30	めぐみちゃんメニューの推進 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	再掲	=No.3
		31	地域や商店街との連携	再掲	=No.8
		32	東大生協調和農学機構との連携	連携を協議	農業に関連した東大との連携を図る。情報収集を行う。
		33	市民農園の新しい展開	負担金の見直し、新たな付加価値地の創造	①適正な利用料について、引き続き協議を行う。 ②「新たな付加価値」の検討を行う。
	市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進	34	農業体験農園の推進	経費の一部補助及び広報支援	①市報やHPでの広報や、市民まつりでの広報。 ②開設時の支援制度(補助金)の活用。